

スクール時代の ICT授業最前線

外国語授業
修学旅行プラン

学校と学校外の
シームレスな学びを実現！
GIGA



GIGAスクール構想で1人1台ICT端末が実現しつつある今年度。そのようななか、30年以上もICT教育を実践している市が千葉県柏市です。それを牽引してきたのが柏市立手賀東小学校の佐和伸明校長で、文部科学省のICT活用の普及・研究に長年携わっています。佐和校長をリーダーとしてICT教育に積極的に取り組んでいる同校から5年生、6年生のICT端末を活用した実践をお届けします。
監修/千葉県柏市立手賀東小学校校長 佐和伸明

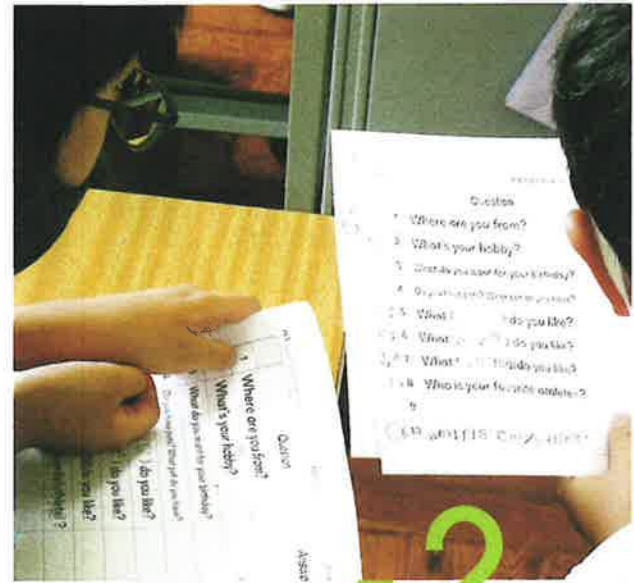
5年

外国語授業(オンライン・ブレンディッド授業・総合的な学習の時間)
ALTとオンラインで仲よくなるろう！
サプライズで
Tシャツプレゼント企画

授業者 戸沢日奈(担任)、有川陽子(TTアドバイザー)、長谷部節子(外国語活動支援員)、リチャード・デ・ジャスト(ALT)

1 課題の設定

第1時
オンラインでALTと仲よくなるろう！
お礼にサプライズプレゼントで
Tシャツをデザインすることを
事前につけた5グループの子供たちが、
5人のALTとオンラインで交流し、自
己紹介やゲームをしてALTと仲よくな
る。子供たちは、このときお礼にサプラ
イズプレゼントでTシャツをデザインす
ることを知る。



2 情報の収集

第2時
Tシャツを
デザインするために、
ALTに質問すること
を考える。
質問することと担当を
決めてワークシートに記
入する。



単元づくり (全7時間扱い)

5年生は現在、外国語の学習をしているが、実際に外国人と会って英語を話す機会は少ない。しかし、国際化する社会の中で、英語を使ってコミュニケーションを図る力は必要である。また、グループでALTが喜ぶTシャツを作るという目標をもつことによって、自分の意見を話したり、友達の見聞を聞いたりして、考えをひとつにまとめる力を付けることができるようにする。

単元目標

- 自分や相手のことに関する事柄について、英語で簡単な単語や基本的な表現を用いて、その場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができる (知識・技能)。
- ALTが喜ぶTシャツをデザインするために、ALTに何を質問すればよいかを考えたり、実際にデザインして、友達と交流し、デザインを完成させたりすることができる (思考・判断・表現)。
- ALTに質問したり、学級や手賀西小学校のグループの友達と協力して話し合ったりし、ALTが喜ぶTシャツをデザインしようとする (学びに向かう力、人間性等)。

学習計画

- 1 課題の設定
第1時 オンラインでALTと仲よくなるろう！ お礼にサプライズでTシャツをデザインすることを知る。
- 2 情報の収集
第2時 Tシャツをデザインするために、ALTに質問することを考える。
第3時 オンラインでALTに質問をする。好きな色や形、食べ物などを聞く。
- 3 整理・分析
第4時 オンラインで手賀西小学校の5年生と、集めた情報を伝え合う。
第5時 Tシャツの色やデザインをグループで考える。
第6時 オンラインで手賀西小とTシャツの色やデザインをどうするか話し合う。
- 4 まとめ・表現
- 5 振り返り・改善
第7時 事前に送付しておいたTシャツをALTに開封してもらい、オンラインで感想を聞く。



プレゼントしたTシャツを、ALTにその場で開封してもらい、オンラインで感想を聞く。



ALTに、どうしてそのTシャツデザインにしたのかと、発想の気持ちを伝えよう。
① あそび
② その国の文化
③ 発想
④ 集合写真
⑤ おいしさ
導入で、進行の順序や役割分担を確認。



【協働の学び】グループごとに、ALTから得た情報を整理し、他に必要な情報は何かを考える。

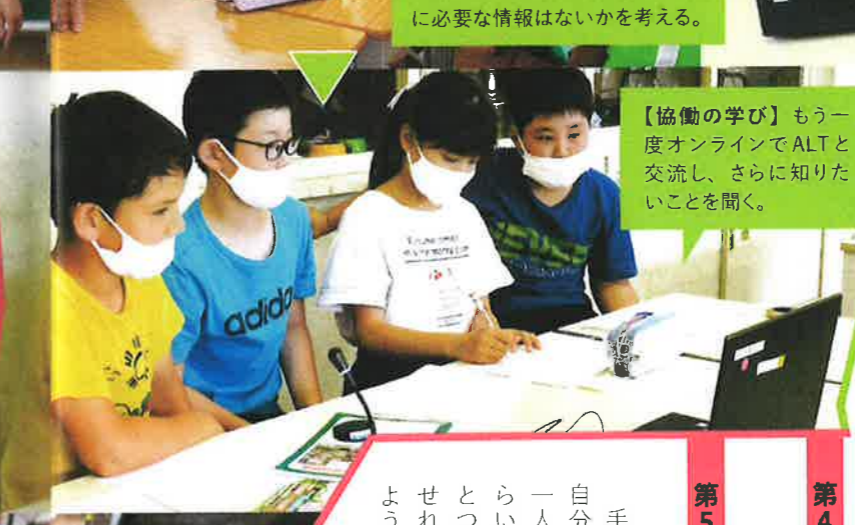


【協働の学び】オンラインでグループごとにALTと交流し、好きな色や形、食べ物などを聞く。



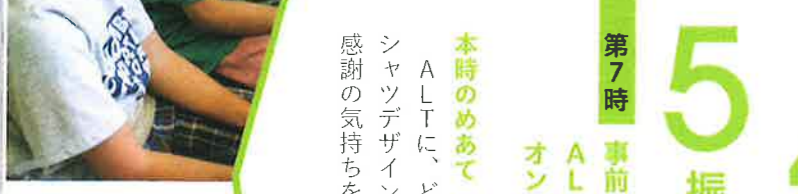
一人一人がTシャツのデザインの理由や交流の感想を言う。

第6時 オンラインで事前に手賀西小とグループクラスルーム(グループのオンライン学習アプリ)で共有したTシャツのデザインを基に、どんなデザインのTシャツにするかを話し合う。一番大切なのは、「納得」というキーワード。一人一人が納得できるように、多数決ではなく、理由とともに自分の意見を話すことが大切だとみんな考えてた。



【協働の学び】もう一度オンラインでALTと交流し、さらに知りたいことを聞く。

第3時 オンラインでALTに質問をする。
ALTに好きな色や形、食べ物などを聞く。この情報はALTに内緒のプレゼントのTシャツのデザインに生かすため、確実に聞かなければならない必然性が生まれる。収集した情報を整理し、不確かな情報や足りない情報があれば再度ALTに質問する。



本時のめあて
ALTに、どうしてそのTシャツデザインにしたのかと、感謝の気持ちを伝えよう。



本時はひとり1台のICT端末で話し合う。

第4時 同じ内容で学習を進めている手賀西小と、ALTの好みについて集めた情報をオンラインで伝え合う。
第5時 Tシャツの色やデザインをグループで考える。
手賀西小とデザインについて話し合う前に、自分はどうなTシャツにしたいかを考える。一人一人が描いたためグループ内では10枚くらいのデザインがそろろう。その中のどれかひとつを選ぶのではなく、どこをどう組み合わせればALTが喜ぶTシャツになるかというように考える。

3 整理・分析



プレゼントに作ったオリジナルTシャツ。

5 振り返り・改善

4 まとめ・表現

事前に送付しておいたTシャツを、オンラインで感想を聞く。



クラスルームでやり取りして出したTシャツデザイン候補。



手賀西小の同じグループの子供たちと、事前に出し合ったTシャツ候補デザインを基に、Tシャツのデザインをどうするかをオンラインで話し合う。

学習計画

- 1 課題の設定**
第1時 修学旅行を自分たちで計画することを
知る。
- 2 情報の収集**
第2時 例年の計画を基に、日光とはどうい
うところかインターネットやインタビューで
調べる。
- 3 整理・分析**
第3時 旅行会社の人を招き、選択する方
法を聞く。
第4時 調べた情報を基に、訪れたい場所、訪
れるべき場所を選択する。
第5時 選択した場所を地図にまとめる。
第6時 修学旅行の見学先案を作成する。
- 4 まとめ・表現**
第7時 クラスで決めたプランを提案し、可
能かどうか判断してもらう。
- 5 振り返り・改善**
第8時 計画を調整し、校長に実施の許可を
もらう。

単元目標

- 修学旅行の工程を作るために、ICTや資料を活用して掲載、伝達することができる(知識・技能)。
- 自分が考える「修学旅行でぜひ訪れたい場所」の希望を整理・分析し、どこに行きたいかを表現することができる(思考・判断・表現)。
- 自分の考えをまとめたり、クラス内で出た意見を集約したりして、修学旅行の見学先や体験を決定しようとする(学びに向かう力、人間性等)。

単元づくり(全8時間扱い)

同校は5、6年生で修学旅行を実施しており、毎年同じ旅行日程になっている。見学内容を考えるということは、正解のない課題ではあるが、みんなで計画、試行錯誤して最適解、納得解を追究することは、これから予測不能な社会を生きる子供たちにとって必要な力である。子供が考える訪れたい場所を収集、整理し、その見学内容を選択した理由を表現、発信することを通して、みんなが納得する修学旅行になるようにする。

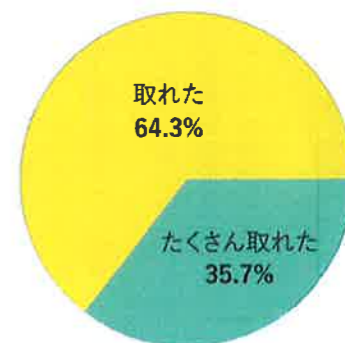
6年

総合的な学習の時間
修学旅行を計画しよう
授業者 丸山慧(担任)



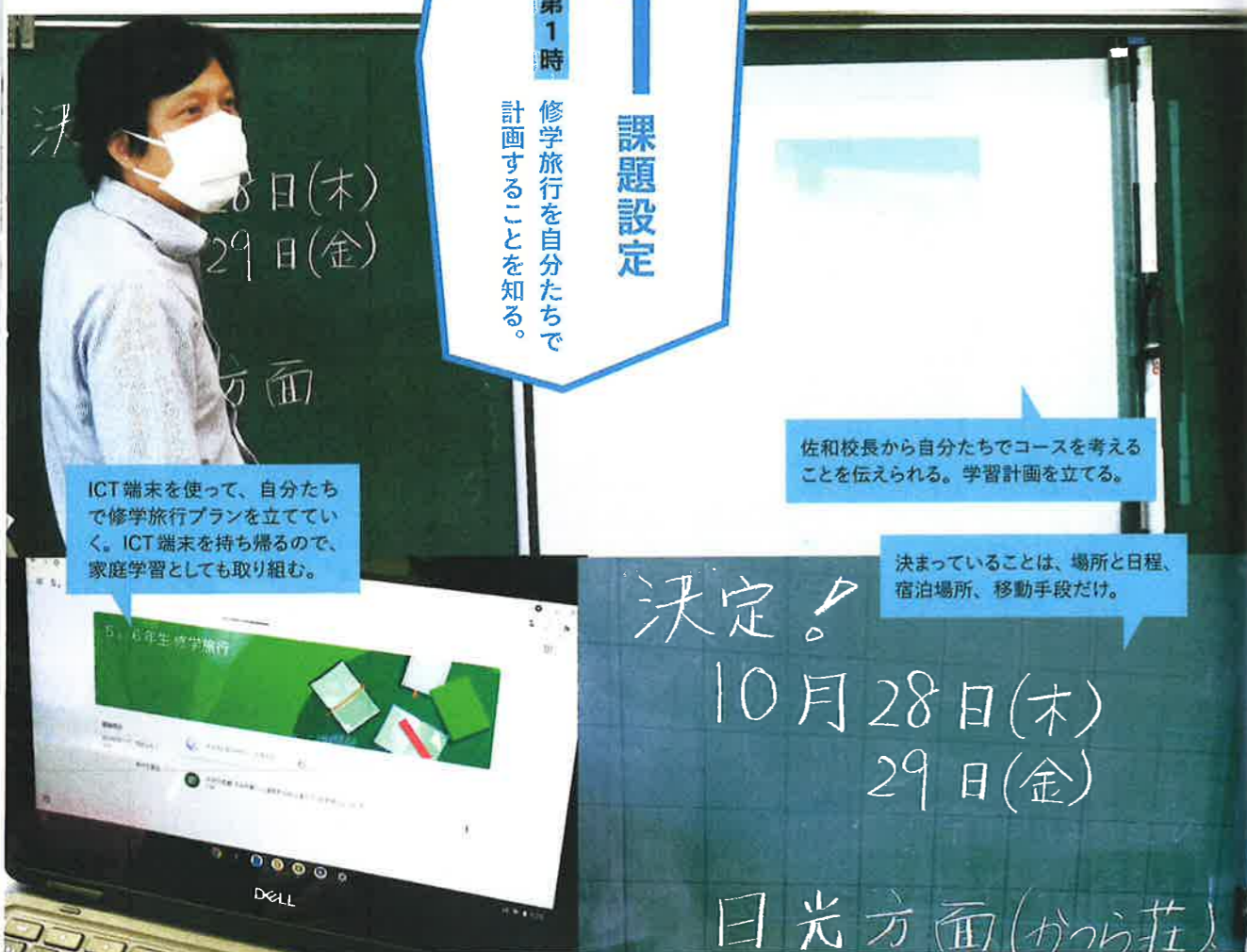
- デザインを考えたのが楽しかった。英語が前よりも言えるようになって、嬉しかった。英語の発音が難しかったけれど、本番までに言えるようになってよかった。
- 英語でも、伝わらないときもあったけどすごく楽しかったし緊張もしました。英語は難しく時々話せない時もあったけどちゃんとと言えるように頑張りました。もしできたら手賀西小にも行けたら行きたいし、先生がいる所にも行きたいと思います。
- 言葉だけではなく反応も必要ということがわかった。
- ALTの先生が喜んでくれてとても嬉しかったです。ALTの先生が喜んでくれたのは、手賀西小との協力やグループの協力・練習とみんなの感謝の気持ちがあるからだと思います。いつかALTの先生に会ってみたいです。
- 皆で、協力でき、とても嬉しかったです。
- これから外国人と会ったときにさっと英語が喋れるようにふだんから練習しようと思いました。

子供たちの振り返り



授業後アンケートより
外国人とのコミュニケーションは
取れましたか?

第1時
1 課題設定
修学旅行を自分たちで
計画することを
知る。



授業では、役割分担を確認して、Tシャツを送ったALTとオンラインでコミュニケーションを開始。ALTやTアドバイザーと協力して、英語の読み方に自信がない子には支援して、話すように促しました。アンケート作成ツールで振り返りを行い、「英語が好きになった」「コロナが落ち着いたらALTに実際に会ってみたい」など、英語に関することやこれからの希望についての前向きな感想が見られました。

授業者 戸沢日奈絵
挨拶や「Please open it.」は、みんなで言い、Tシャツのデザインの理由や感想は一人一人が伝えることにしました。それは、手賀西小とストリームでの話し合いで、「感謝の気持ちを伝えるためには、一人一人が感想を言うことが必要である」となったからです。ポケトークを使ったり、教師に聞いたりして、自分が伝えたい言葉を考えます。

戸沢日奈絵
柏市立手賀東小学校教諭



本時の授業のポイント